１１．データコンバータ

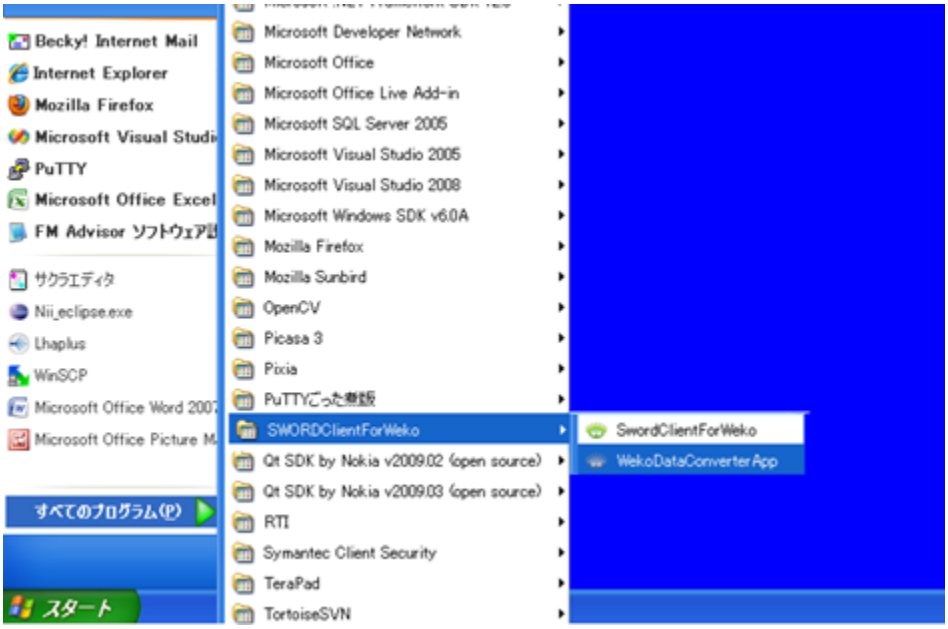
- １１．１．起動
- １１．２．コンバート
- １１．３．インポート

SWORDクライアントは、WEKOへのデーター括登録をすべてWindowsアプリケーション上で行いますが、アップロード（デポジット）処理をWebブラウザで行うこともできます。

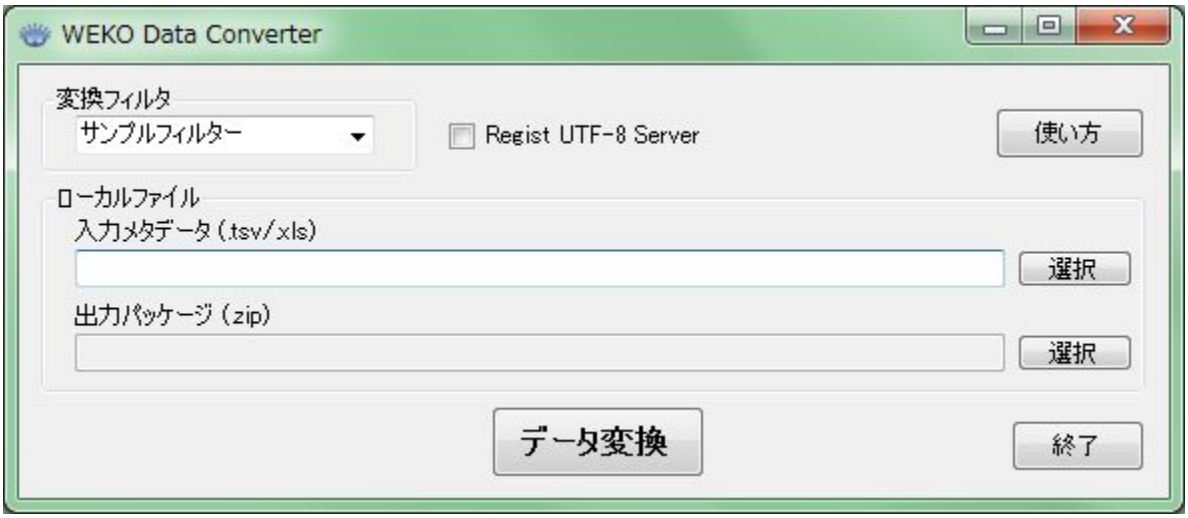
このデータコンバータは登録対象データをWEKOの一括登録用の形式に変換します。変換したデータはWEKOの画面からアップロードすることで、一括登録ができます。

１１．１．起動

Windowsスタートメニューから、「すべてのプログラム」⇒「SwordClientForWeko」⇒「WekoDataConveterApp」をクリックします。



データコンバータが起動します。



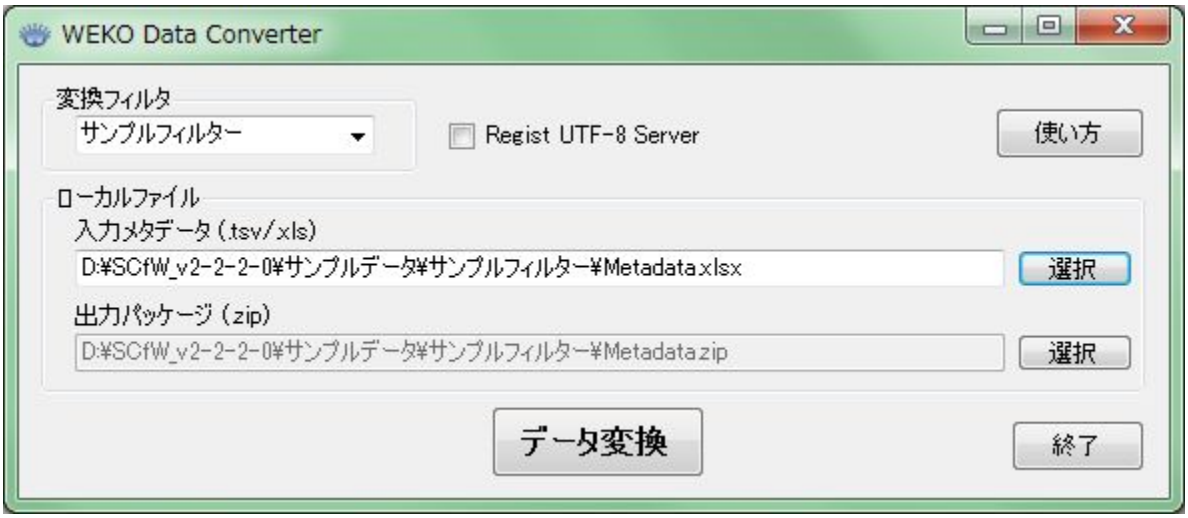
１１．２．コンバート

入力メタデータの「選択」ボタンをクリックし、コンバートを行うメタデータファイルを選択します。

変換フィルタのコンボボックスから、選択したメタデータファイルに対応するフィルターを選択します。

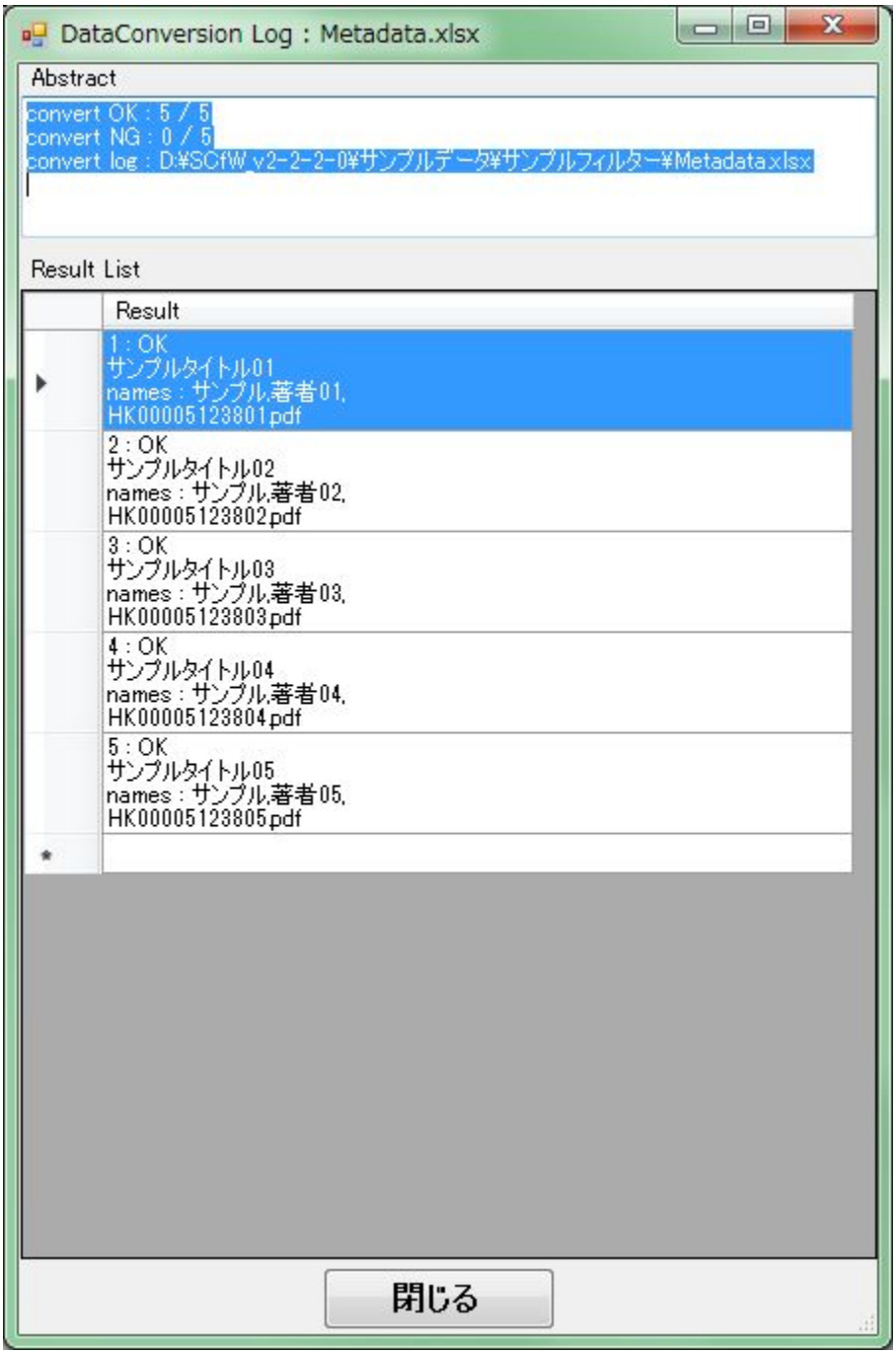
「データ変換」ボタンをクリックします。

※チェックボックス「Regist UTF-8 Server」は、zipファイルを作成する際、ファイル名をUTF8でエンコードするか否かという設定です。LinuxはUTF8ですので、Linuxサーバに上げる場合はここにチェックを入れます。

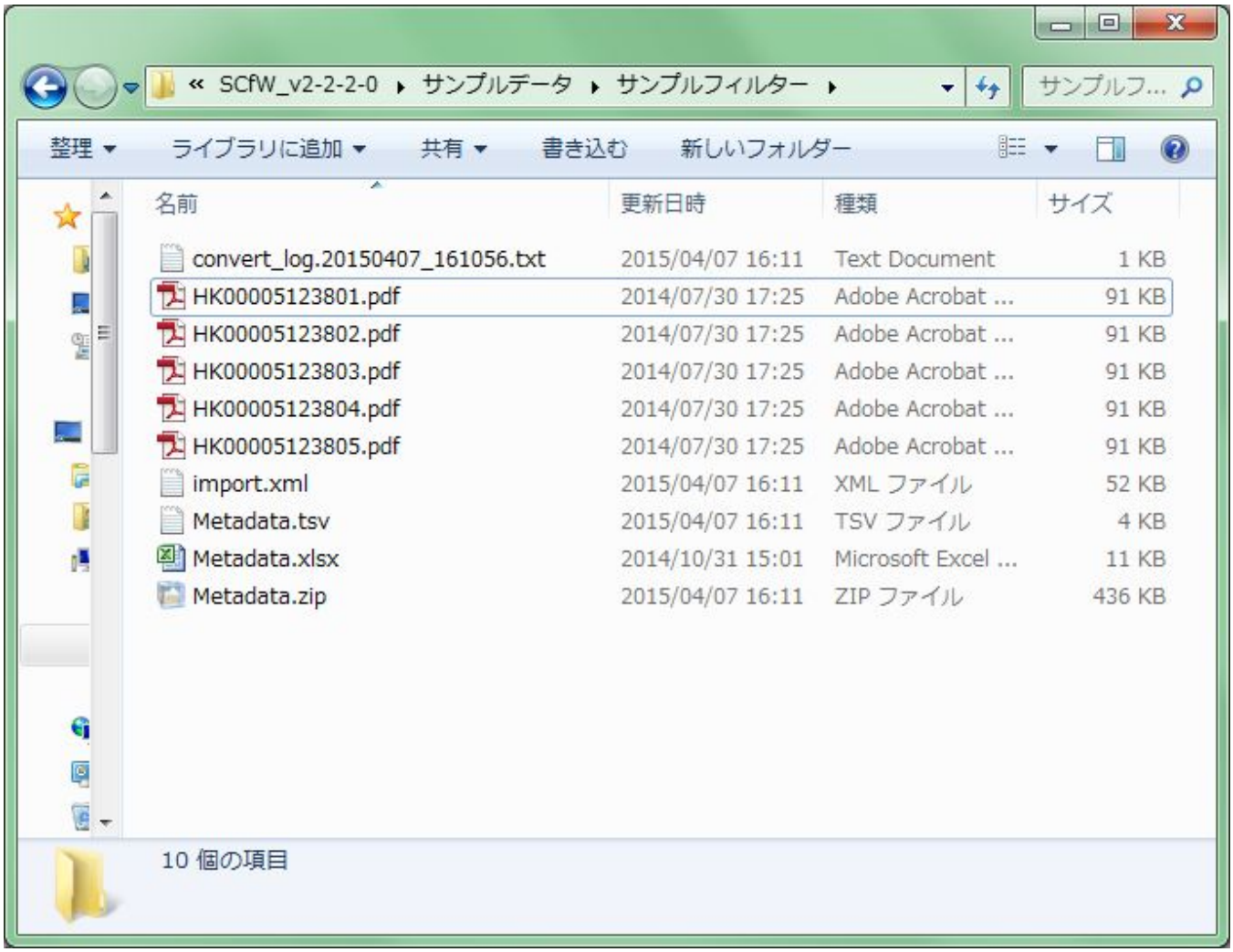


処理結果が表示されます。

「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



WEKOのインポート機能で利用可能なzipファイルが作成されます。

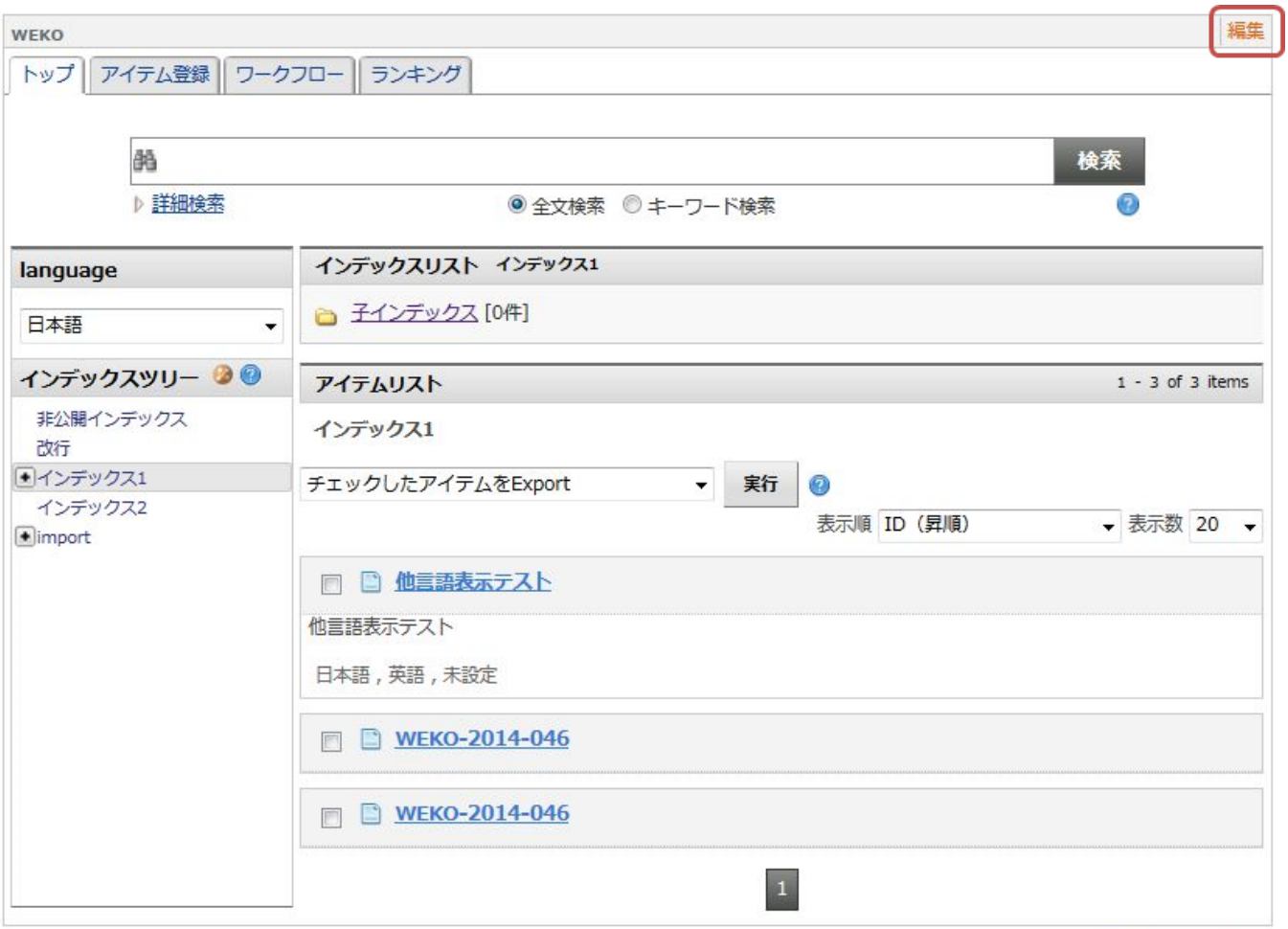


１１．３．インポート

WEKOに主担以上の権限を持つユーザでログインします。

WEKOの右上にある「編集」リンクをクリックします。

※NetCommonsのテーマによっては「編集」リンクが表示されない場合があります。その場合は、モジュール名にカーソルを合わせることでレンチのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックしてください。



「インポート」タブをクリックします。

アイテムを登録するインデックスをインデックスツリーから選択します。

インポートするアイテムの「参照」ボタンをクリックし、インポートファイル(１１．２．で作成したZIPファイル)を選択します。

「インポート」ボタンをクリックします。

インポート完了画面が表示され、指定したインデックス以下にアイテムが登録されます。